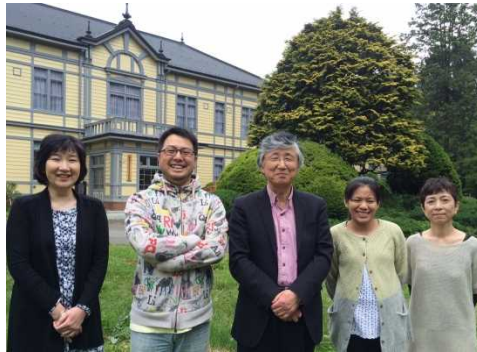


# マウス海馬修復因子の発見からヒト認知症薬を目指す

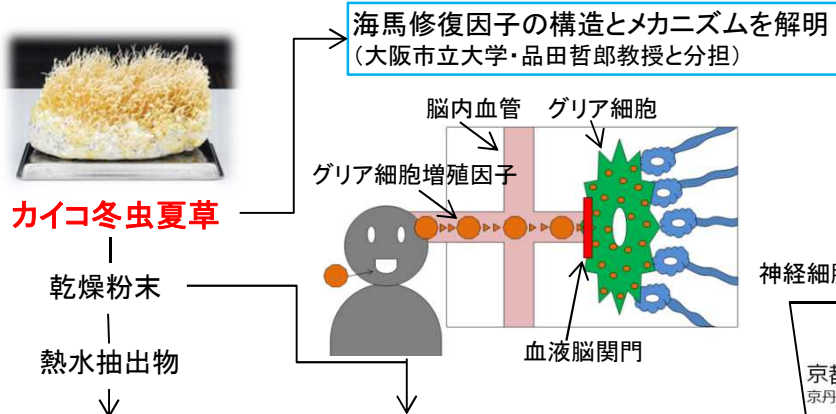
岩手大学提供  
作成日 2016年 3月22日  
更新日



<b>代表研究者氏名</b> すずき こういち 鈴木 幸一	<b>所属機関</b> 岩手大学研究推進機構	<b>関連キーワード(複数可)</b> 昆虫機能利用、有用物質生産、新しい養蚕
<b>主な研究テーマ</b> ・カイコ冬虫夏草起源の海馬修復因子の構造とメカニズムの解明 ・カイコ冬虫夏草のヒト試験 ・脳機能改善食品と認知症医薬品候補物質の提案	<b>主な採択課題</b> ・基盤研究(S)平成23～27年度(配分総額:206,830千円) 課題名「カイコ冬虫夏草由来のマウス海馬修復因子の構造解析とヒトへの応用開発」	

## ① 科研費による研究成果

・高齢化社会の到来により、認知症の増加が深刻な問題となっており、治療薬・機能性食品が期待されている。そこで私たちは、カイコ冬虫夏草の乾燥粉末抽出物からマウスの海馬を修復する因子を見出し、本因子が新規の生物活性分子であること、本因子の投与によるグリア細胞の増殖とそのメカニズムについて明らかにした。現在、前臨床的ヒト試験を終え、認知症薬の開発を目指している。



マウス・ラットで急性/亜慢性毒性評価試験により安全性を確認  
(岩手大学・御領政信教授と分担)

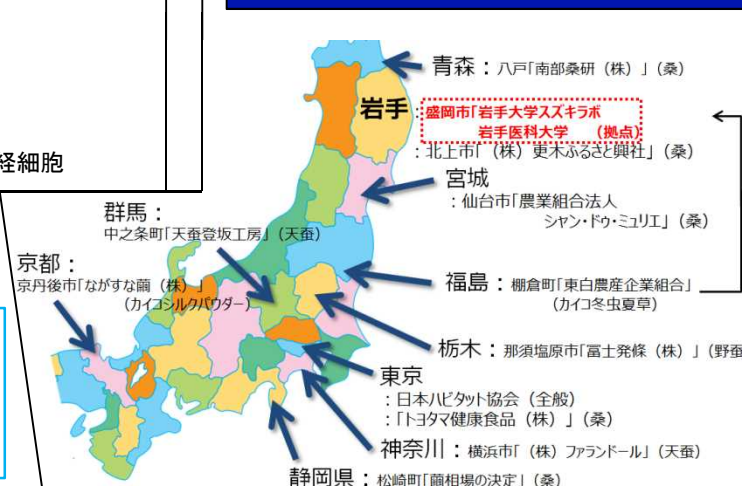
アルツハイマー型認知症の前臨床的試験で、医薬品候補の可能性を提案  
(岩手医科大学・寺山靖夫教授、大阪大学・吉岡芳親特任教授と分担)

## ② 当初予想していなかった意外な展開

・平成27年7月5日(土)ーTBS(夢の扉+)で「認知症をカイコ冬虫夏草の不思議パワーで治せ！」として放映される。  
 ・東白農産企業組合(工場、福島県棚倉町;本社、岩手県盛岡市)から、マウス海馬修復因子が含有した「冬虫夏草」が健康食品として販売される。



## ③ 今後期待される波及効果、社会への還元など



・研究成果から、認知症患者に対応する機能性食品と医薬品の研究開発が進み、食べる冬虫夏草/シルク/桑を基軸とした「非繊維型養蚕イノベーション」による国民医療費削減と地方創生に貢献できる。

(現在、共同研究または事業支援先)